

概要別紙記載

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
(仮称)ケースデンキ書院店

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	Q1		Q2		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q1 建築物の環境品質</b>						<b>2.4</b>
<b>Q1-1 室内環境</b>			0.40			2.7
1 音環境		2.6	0.15			2.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40			
1.2 遮音		3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00			
2 界壁遮音性能						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音		1.0	0.20			
2 温熱環境		2.2	0.35			2.2
2.1 室温制御		3.5	0.50			
1 室温		4.0	0.50			
2 外皮性能		3.0	0.17			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50			
1 昼光率						
2 方位別開口						
3 昼光利用設備		3.0	1.00			
3.2 グレア対策						
1 昼光制御						
3.3 照度						
3.4 照明制御		3.0	0.50			
4 空気質環境		3.2	0.25			3.2
4.1 発生源対策		4.0	0.50			
1 化学汚染物質		4.0	1.00			
4.2 換気		2.0	0.30			
1 換気量		3.0	0.50			
2 自然換気性能						
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50			
4.3 運用管理		3.0	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		3.0	0.50			
<b>Q2 サステナビリティ</b>			0.30			3.0
1 機能性		2.9	0.40			2.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応						
3 バリアフリー計画		3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30			
1 広さ感・景観		5.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33			
3 内装計画		1.0	0.33			
1.3 維持管理		3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30			2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20			
2.4 信頼性		2.2	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20			
5 通信・情報設備		2.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	3.4
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	
1	階高のゆとり		5.0	0.60	-	
2	空間の形状・自由さ		5.0	0.40	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	
3.3 設備の更新性			2.6	0.40	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	
2	給排水管の更新性		1.0	0.20	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	
Q3 室外環境(敷地内)			2.5	0.30	-	1.5
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						3.5
LR1 エネルギー				0.40		3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			4.2	0.20	-	4.2
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.73	4.4	0.50	-	4.4
4 効率的運用			2.0	0.20	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	
集合住宅の評価			-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	
LR2 資源・エネルギー				0.30		3.5
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床材、屋内床	5.0	0.22	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.22	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		5.0	0.50	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境				0.30		3.4
1 地球温暖化への配慮			3.9	0.33	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.4	0.33	-	3.4
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	
2	振動		-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	